

令和7年度学校評価（学校運営協議会）		
（4：できている 3：どちらかといえばできている 2：どちらかといえばできていない 1：できていない）		
取組の重点 観中魂を誇りに ～Be the player!!～	評価	取組の成果と課題（自由記述）
【授業改善・確かな学力づくり】		
○「さぬきの教員授業づくりの三訓」を踏まえた授業実践 ①学びの質を高め、わかる授業づくり ・教師が教え込む授業と生徒どうしが学び合う授業の計画的な実践 ・学びを深め、つながるICT活用の工夫	3.9	・学力の定着と学び合うことによる思考の深まりや新しい考え方の獲得まで工夫している点評価できる。 ・教え込む、反復して深める学習に重点を置いて指導していることはとても良いと思います。 ・個々に課題を考え、長期的な観点から解決策を見出す習慣をつけさせてほしい。
②生徒一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進 ・個別最適な学びやユニバーサル・デザインの視点を取り入れた授業実践	3.3	全職員で、個に合った教育方法を模索しながら実践している。
③学び続ける基礎を培う学習良習慣の育成 ・学習計画の作成とやり抜く指導 ・振り返り等による自己調整能力の育成	3.3	・自ら求めて学び、最後までやり抜く力を醸成して頂きたい。 ・宿題・提出物100%を良習慣の「見える化」目標に取り組んでほしい。
【道徳教育及び人権・同和教育の充実】		
○「道徳の日」「人権の日」を大切にした効果的な指導の展開 ①道徳科を要にした道徳教育の充実 ・質的充実を目指した協働体制による道徳科の授業づくり ・生徒が自らの成長を実感できる評価の工夫	3.9	・全教員でローテーションして、指導を実践しているところが素晴らしい。 ・道徳通信の発行、ローテーション道徳の実践はとてもすばらしいと思います。
②人権尊重の精神と実践力を培う人権・同和教育の充実 ・観音寺市教材「輝き」の授業実践 ・互いに認め合い支え合うなかま作り	4.0	・「輝き」の活用が当たり前となっている。日常的な実践に頭が下がります。 ・長く続いている人権だよりの発行、人権の日、人権教育の実践等、とてもすばらしいと思います。
③夢や目標を持たせるキャリア教育の推進	3.9	・校内だけでなく地域の方に入って頂いてでの学習指導は、社会性を鍛える上でも意義深い。 ・社会の仕組みを早く認識させる必要があるのでは？
【生徒指導・不登校対策の充実】		
○意図的なリーダー養成及び多様な活躍の場の設定 ①自己指導能力を育む生徒指導の推進 ・自己存在感、共感的人間関係、自己決定の場の意図的かつ計画的な設定 ・達成感や成就感を味わえる活動の工夫	4.0	・校歌歌い隊や生徒会のリードで、目標となる姿を見せることで、生徒の自浄力や自己指導能力を養っている。観中のよき伝統となっている。 ・生徒会活動を核に自己指導能力の育成に取り組んでいることがよい。 ・人前で、簡潔にプレゼンできない人が社会人になっても多いです。若いうちから人前で話せる機会を！
②問題行動や不登校等に組織的に対応する校内体制の整備 ・「さぬきの教員かかわりの三訓」を踏まえた学年団、教職員集団づくり ・不登校傾向生徒への支援体制の充実	3.8	・危機管理13箇条を全職員で徹底している。どの生徒も安心して過ごせる学校となっている。 ・学校に「先生の目が行き届いている」という「空気」を感じます。 ・マニュアルだけが正解ではなく、時にはイレギュラーな対応も。
③関係機関等との連携の日常化 ・教育支援教室、市子育て支援化等	3.3	関係機関と連携するにあたり、学校の方針をしっかりと固めて臨むことが望ましいと思います。これからもしっかりと連携してください。
【心身の成長を促す計画的な指導・支援】		
○子供のウェルビーイングの維持、向上の基盤となる取組みの充実 ①心身を整える ・全教職員による日常的な健康観察 ・ネット・ゲーム依存予防対策	3.3	・おそらく殆どの家庭が、ネット依存について悩んでいるのではないのでしょうか。家庭でのルールを守る親の姿（スマホの扱いなど）で改善に導きたいものです。 ・携帯電話やタブレット端末による過度なネット依存が進んでいるように感じます。
②食育の推進 ・栄養教諭を核とした指導の充実	3.5	・給食を食べられない今の自分にとって学校給食は、本当に素晴らしい。健康維持増進の源となる栄養バランスの大切さを今後も継続して指導して頂きたい。 ・併せて食品ロスの教育もお願いしたい。
③部活動の充実 ・目標に向かって自主的継続的に活動、技能・体力・マナー・耐性の向上 ・部活動ガイドラインに基づく練習時間及び休養日の設定	3.8	・地域展開に向けて、手探り状態で試行錯誤をしていることと思われますが、生徒の視点に立って、生徒のニーズに応えるべき施策を目指してください。 ・生徒が思う存分活動でき、多様な個性を発揮できる場となるよう、子どもを中心に据えた部活動地域展開を期待しています。
【チーム学校・働き方改革・地域学校協働活動】		
①チームとしての学校及び教職員の働き方改革の推進、適切な情報発信	4.0	・全員のベクトルが同じ方向に向いて進んでいることが、なによりの働き方改革だと思っています。今後も校長先生のリーダーシップのもと全員で支え合って、協力し合って進めてください。
②学校運営協議会、PTA等による学校課題解決のための地域学校協働活動の創造	3.5	・地域の良さをしっかりと指導し、観音寺に留まる、観音寺に帰ってくる人材育成を、地域の人材を活用しながら進めたいものです。